

ポーランド国の電力会社PGE社およびタウロン社との 協力協定の締結について

当社は、5月6日（ポーランド現地時間12時30分）、ポーランド国の電力会社であるPGE社（本社：ワルシャワ、社長：トマシュ・ザドロガ氏）およびタウロン社（本社：カトビツェ、社長：ダリウシュ・ルベラ氏）とそれぞれ協力協定を締結しました。

今後、この協力協定に基づき、石炭火力発電、再生可能エネルギー、CO₂排出クレジットなどの分野で、新規プロジェクトの開発や、コンサルティングなどに関する情報交換を進めていく予定です。

1.経緯

- 平成21年4月に、PGE、タウロン両社を含むポーランド電力訪問団が当社施設を視察（[平成21年3月27日お知らせ済み](#) [\[PDF:125KB\]](#)）し、平成21年9月に、ポーランド国とCO₂排出クレジット取得契約を締結（[平成21年9月16日お知らせ済み](#) [\[PDF:178KB\]](#)）して以降は、石炭火力発電の効率化や再生可能エネルギーの推進、CO₂排出クレジット等、3社が共通する課題に対し、意見交換をしてきました。
- この結果、石炭火力発電や再生可能エネルギー等の分野において、双方の技術・経験を活かし協力することが、エネルギー問題・環境問題の解決に貢献していくものと考え、協力協定を締結することとしました。

【ポーランド国の電力概要】

- ・1997年エネルギー法成立以降、小売自由化が進展
- ・発電設備容量：3,573万kW（石炭86%、水力6%、その他8%）※2006年度実績
- ・発電部門、配電部門は国有4大グループ（PGE社、タウロン社、エネア社、エネルギー社）のほか一部を外資が所有
- ・電力の90%以上を石炭火力に依存しているため、石炭火力発電の効率向上による地球温暖化問題への対応や、エネルギーの多様化が課題となっている
- ・PGE社は2020年にポーランド初の原子力発電所の運転開始を目指している



2.協力協定の概要

(1)内容

以下の分野について相互のコンサルティング・出資等の可能性について情報交換を行います。

- 石炭火力発電：高効率化、二酸化炭素回収・貯留(CCS)技術、石炭ガス化(IGCC)等
- 再生可能エネルギー：水力発電、風力、バイオマス、太陽光等
- CO₂排出クレジット：共同プロジェクト等
- 原子力発電：広報活動等

(2)期間

- PGE社・中国電力 2010年5月～2015年4月(5年間)
- タウロン社・中国電力 2010年5月～2012年4月(2年間)

【PGE社およびタウロン社の概要】

項目	PGE社 (POLSKA GRUPA ENERGETYCZNA S.A.)	タウロン社 (TAURON Polska Energia S.A.)	<参考> 中国電力株式会社
特徴	ポーランド国東部を拠点とするポ国最大の発電、配電会社	ポーランド国南部を拠点とするポ国第2の発電、配電会社	—

主な事業	発電・配電事業	発電・配電事業	発電・送電・配電事業
社長	トマシュ・ザドロガ氏	ダリウシュ・ルベラ氏	山下 隆
設立	2007年	2006年	1951年
所在地	ワルシャワ	カトビチェ	広島市
設備容量	1,240万kW	540万kW	1,198万kW
契約口数	500万口	400万口	524万口
発電電力量	561億kWh (ポー国シェア45%)	215億kWh (ポー国シェア17%)	457億kWh
販売電力量	534億kWh	307億kWh	579億kWh
※PGE社・タウロン社は2008年実績, 当社は2009年度実績			

以上